



## 貞方敏郎先生略歴及び業績

著者	同志社大学英文学会
雑誌名	主流
ページ	vii-ix
発行年	1981-04-10
権利	同志社大学英文学会
URL	<a href="http://doi.org/10.14988/pa.2017.0000015284">http://doi.org/10.14988/pa.2017.0000015284</a>

## 貞方敏郎先生略歴及び業績

- 1911年（明治44年）1月 京都市にて誕生
- 1923年（大正12年）4月 同志社中学に入学
- 1927年（昭和2年）3月 同校第4学年修了  
4月 同志社大学予科に入学
- 1930年（同 5年）3月 同予科修了  
4月 同志社大学文学部英文学科に進学
- 1933年（同 8年）3月 同学科卒業
- 1936年（同 11年）4月 同志社大学文学部助手  
～1939年（同14年）3月 『形容詞の機能——Three Rank の疑義』  
『船橋雄教授記念論文集』に掲載
- 1939年（同 14年）4月 同志社中学校教諭  
～1946年（同21年）4月
- 1940年（同 15年）4月 同志社専門学校講師（兼任）  
～1944年（同19年）9月
- 1941年（同 16年）3月 「イエスペルセンの文法原理」『主流』第6号に  
掲載
- 1946年（同 21年）5月 同志社大学予科専任講師  
～1947年（同22年）3月
- 1947年（同 22年）4月 同予科教授  
～1948年（同23年）3月
- 1947年（同 22年）12月 *An Advanced Grammar with Exercises*（平安  
書店）出版
- 1948年（同 23年）4月 同志社大学教養部（新制）教授  
～1951年（同26年）3月 同志社大学文学部嘱託講師
- 1951年（同 26年）4月 同文学部教授  
～1980年（同55年）5月

- 1952年（同 27年）10月 *Darwiniana: Life and Theory of Charles Darwin by Thomas H. Huxley* (Doshisha Univ. Press) 編注
- 1953年（同 28年）3月 「カームとイエスベルセン」『主流』復刊第5号に掲載
- 1955年（同 30年）4月  
～1959年（同34年）3月 同志社女子大学嘱託講師
- 1963年（同 38年）2月 「‘Represented Speech’（描出話法）の諸相」『上野直蔵博士還暦記念論文集』（南雲堂）に掲載
- 1963年（同 38年）4月  
～1980年（同55年）5月 同志社大学大学院文学研究科修士課程教授
- 1963年（同 38年）4月  
～1965年（同40年）3月 同志社女子大学嘱託講師
- 1964年（同 39年）1月 「伝統文法と構造主義」『主流』第25号に掲載  
3月 「『自由直接体』の文章——Katherine Mansfieldの文体に見る——」『英語青年』第110巻，第3号に掲載  
11月 「文法的話法と描出話法——語学と文学の接点——」『英語青年』第110巻，第11号に掲載  
11月 「伝統文法の枠について——英文法の改革者たち(1)——」『主流』第26号に掲載
- 1965年（同 40年）  
～1966年（同41年） コペンハーゲン大学に visiting researcher として滞在。その間、北欧、ドイツの諸大学の英語学研究と授業の視察をする。
- 1966年（同 41年）4月  
～1971年（同46年）3月 同志社女子大学嘱託講師
- 1968年（同 43年）4月  
～1971年（同46年）3月 同志社女子大学大学院修士課程嘱託講師

- 1969年(同 44年)  
~1970年(同45年) コペンハーゲン大学に *visiting researcher* として再び滞在. 主として音声学科に学ぶ.
- 1970年(同 45年) 4月  
~1972年(同47年) 3月 大阪外国語大学デンマーク語学科並びに同大学大学院外国語学研究科非常勤講師
- 1975年(同 50年) 6月 「話法体の発達について——英語と日本語の場合」『同志社大学英語英文学研究』第11号(滝本二郎教授退職記念号)に掲載
- 9月 「英語の話法体と日本語の話法体」『主流』別冊『Robert H. Grant 先生追悼号』に掲載
- 1980年(同 55年) 5月3日 京都市上京区の山根診療所にて, 大腸癌のため永眠.